

株式会社ソフトフロント 2016年3月期 第2四半期決算説明資料

2015年10月30日

この資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しの上に全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

2016年3月期 第2四半期業績の概要

執行役員 財務担当 五十嵐達哉

業績の概要

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	ご参考 2015年3月期 通期実績
売上高	118	181	397
営業損益	△239	△175	△389
経常損益	△240	△177	△388
当期純損益	△242	△177	△412

中期経営計画最終年(3年目)の中、前期の国内拠点統合後の業績低迷からの回復が充分になされてきており、売上高は前期比1.5倍以上となる。損益面は、売上高の伸びに応じて良化。ベトナム現地法人の本格活用により、費用が抑制出来ている。

「売上高」の状況

(単位：百万円)

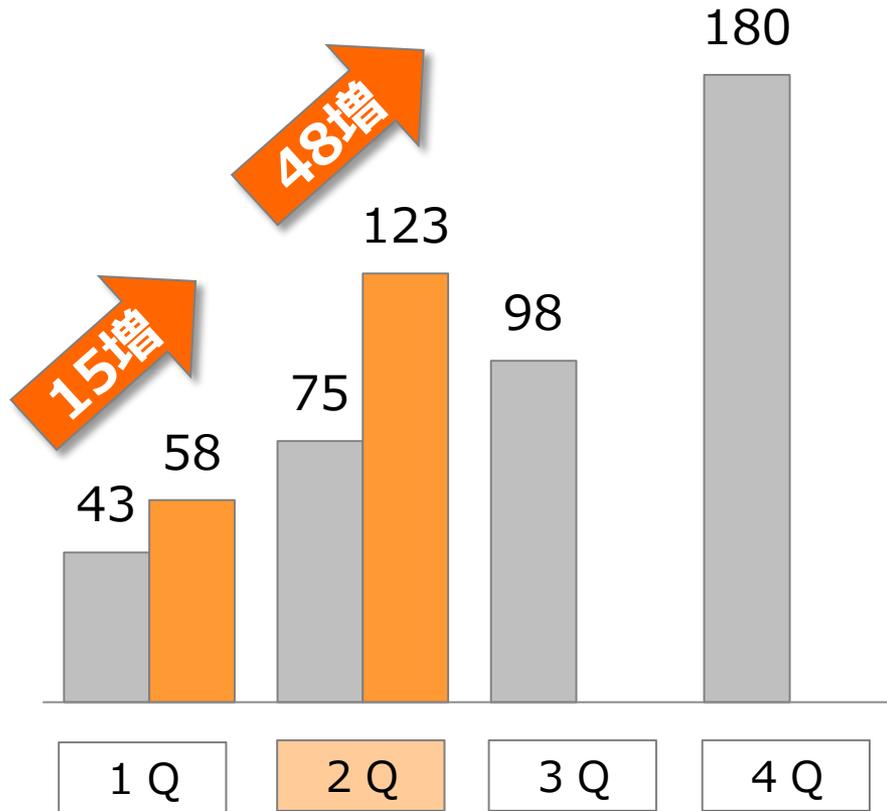
	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	ご参考 2015年3月期 通期実績
売上高	118	181	397
ソフトウェア販売	41	76	190
受託開発	74	102	202
その他	2	2	5

ソフトウェア販売、受託開発共に、前期に比べて増加。
特にソフトウェア販売は製品販売であり、売上が伸びても原価が大きくは増えないため、今後も営業活動に力を入れる。

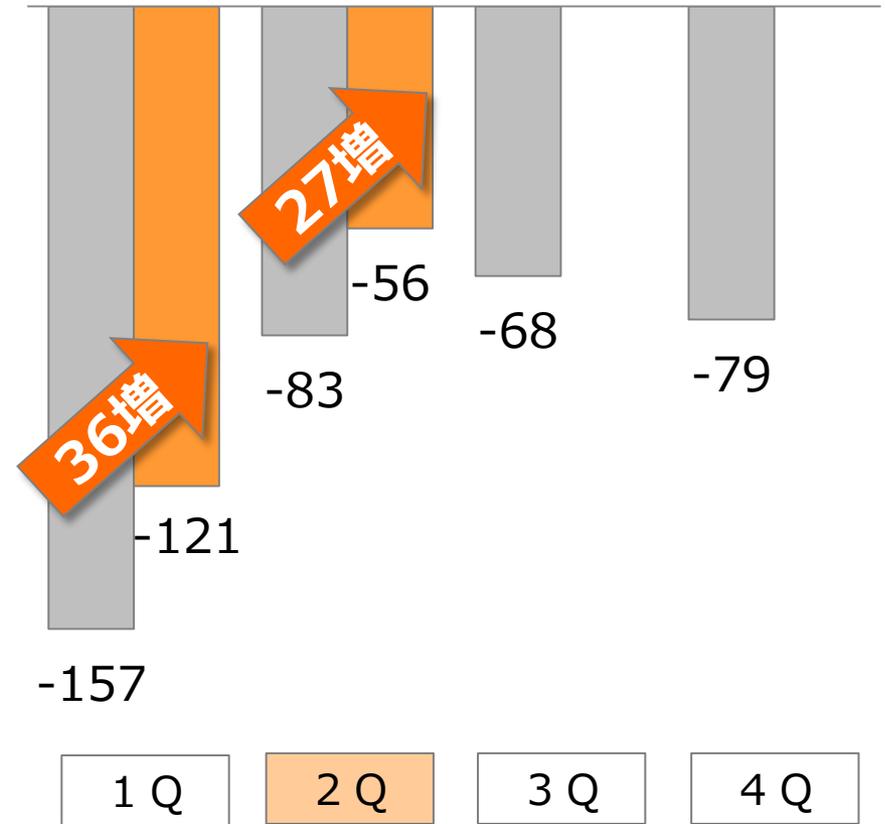
四半期別業績推移

(単位：百万円)

売上高



経常損益



■ 2015年度3月期

■ 2016年度3月期

2016年3月期第2四半期：キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△123
税金等調整前四半期純損益	△177
減価償却費	48
売上債権の増減額（△増加）	30
仕入債務の増減額（△減少）	△5
その他	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△191
現金及び現金同等物の期首残高	480
現金及び現金同等物の四半期末残高	288

事業展開について

代表取締役社長 阪口克彦

2016年3月期の取り組み

【中期経営計画最終年度】

◆ 成長に向けた改革挑戦を継続

➤ 中期経営計画の考え方は継続

- 外部

3つの事業領域で挑戦

- 内部

収益性と生産性向上

◆ 目標数値

➤ 黒字化：最終利益イーブン以上

2016年3月期の取り組み

【中期経営計画最終年度】

◆ 主な取り組み項目

既存事業 : 電力系通信事業者・NTTグループに加え、再度メーカー系に注力

サービス事業 : 新たにコミュニケーションプラットフォーム事業に挑戦

海外事業 : 開発力強化、アジアマーケットでの製品・サービス販売を本格的に開始

R&D : 当社の技術的強みを再構築・強化し、売上貢献

2015年度上半期の主な成果

■ 既存事業領域

- IP電話・テレビ電話・テレビ会議関連製品である『HelloMeeting』及び『LivyTalk』をベースとした各種ソフトウェア開発案件を受注
- 複数の複合機メーカーからIP FAX関連案件を受注
- IoT（Internet of Things）関連案件を前期に引続き受注

■ サービス事業領域

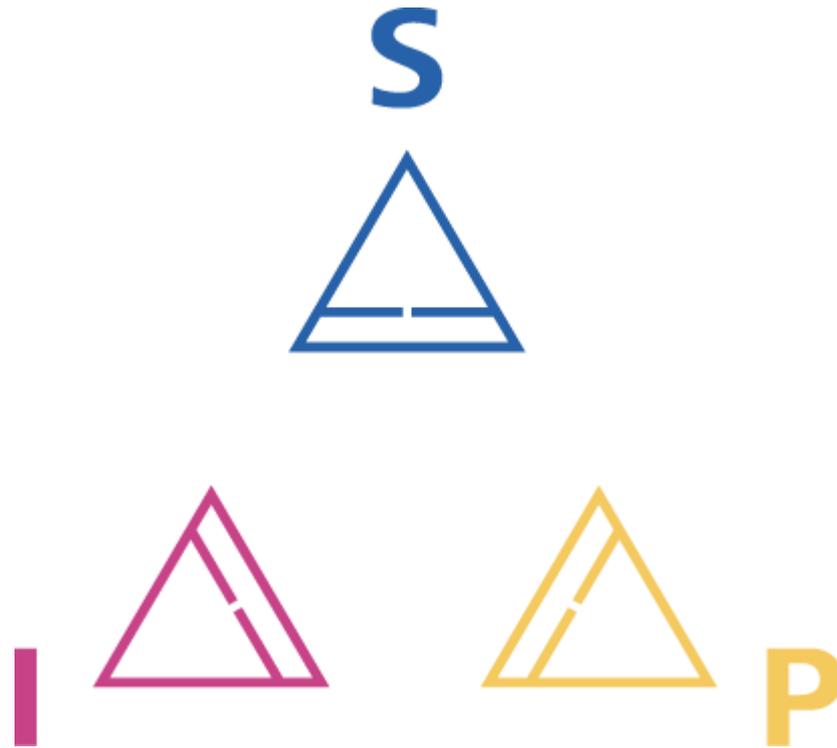
- BYOD（Bring Your Own Device）関連分野でソフトウェア製品の開発/販売を実施
- KDDI ∞ Laboハードウェアプログラムでモノづくりコーチ企業に選定（7月）
→IoT関連分野での市場形成
- 女性の起業を支援するココロニ・プロジェクトで異業種各社と協業（5月）
→政府が掲げる「すべての女性が輝く社会づくり」に沿った形の事業展開

■ 海外事業領域

- ベトナム現地法人体制強化
 - ホーチミンシティ事務所に加えて、ハノイ事務所を開設（7月）
 - 人員増強 3月末 50名→9月末 59名
- ベトナム市場での販売ライセンス取得（7月）→グループ外収益の獲得を実現

業績回復に向けて受注の拡大へ

SIP connects the future



**ソフトフロントはSIP技術を基に
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します**